

# ナシ園でカラス対策「くぐれんテグス君」を実証

ネット被覆に比べて低コストで、設置も容易

## 1 くぐれんテグス君とは

「くぐれんテグス君」は、テグスを果樹園の天井部に1m間隔で設置してカラスの侵入を防ぐ技術で、農研機構中央農業総合研究センターと徳島県が共同開発した。

ネット被覆に比べて設置が容易で、設置費用も安く抑えることができる。



## 2 設置方法(果樹研究センターナシ園で実証)



設置は3人で行うと効率が良く、約20aのナシ園で2日間で設置できた(写真①)。弾性ポールの先端部にテグスをパッカーで留めて(写真②)、ポールを棚の外周部に1m間隔で設置する(写真③)。ナシ園の天井部はテグスで、サイド面は防風ネットと防鳥ネットを組み合わせることでカラスの侵入を防ぐ。テグスの展張には釣り道具の投げ竿を使ってテグスを飛ばすと効率が良い(写真④)。

## 3 侵入防止効果

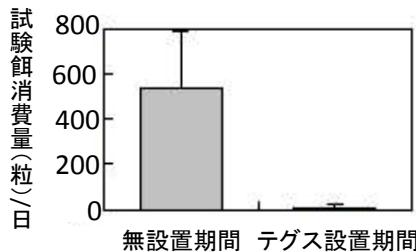


図 模擬果樹園での野外試験における試験餌(ドッグフード)の消費量。テグス設置期間と無設置期間(対照)を3週間ずつ交互に4回繰り返した。

上記の図は『果樹園のカラス対策「くぐれんテグス君」設置マニュアル』農研機構 中央農業総合研究センター 鳥獣害管理プロジェクトより転載した。

## 4 設置に必要な資材(面積20a)

資材名	規格	数量
弾性ポール	10.5mm × 4m	112本
テグス	2500d	3,500m 2巻
結束バンド	250mm	300本
Sパッカー	Φ11mm	112個
ロープ	4mm	200m、2巻
防風網	4mm、2m × 50m	4巻
防鳥網	1.8m × 50m	4巻

## 5 設置における注意点

- ・テグスの設置はせん定後に行うと作業がしやすい。
- ・テグスの展張距離は30m程度までとする(糸が垂れるため)。
- ・山間部等で夜蛾、カメムシ等の発生が多い地域ではネットが良い。
- ・立木栽培の果樹にも応用できるが、外周の囲いが必要となる。